

このたびのこと、ご愁傷さまです。

奥様にご病気とはつゆ知らず、お見舞いにも伺えず残念でした。活発な奥様で、思慮深い貴君とは、大変よい取り合せでしたね。まさに一心同体のご夫婦だったといえるでしょう。

それなのに、世の無常を感じずにはられません。

幼いお二人のお子さんを残して旅立たれた奥様の無念は、是が非でも貴君が晴らさなければなりません。悲しみは限りなく、虚しい心を満たすなにもありませんが、奥様の化身としてのお子さんを守るためにも、どうか一日も早く気を取り直して奮起されるようお願い申し上げます。

本来なら拜趨の上お甲いの言葉を申し上げるべきと存じますが、あいにく所用により伺えません。別封些少で恐縮ですが、奥様のご霊前にお供えいただきたく存じます。

略儀ながら寸簡によりお悔やみまで申し上げます。